

ツーリズムEXPO ジャパン2017

ジャパン・ツーリズム・アワード

アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム／ウェルカム・レセプション



「第3回ジャパン・ツーリズム・アワード」受賞者の皆さん

震災を風化させないための 取り組みに大賞

開会式に続いて行われた「第3回ジャパン・ツーリズム・アワード」の表彰式では、国内訪日領域、海外領域、UNWTO部門で各賞を受賞した皆さんが登壇して表彰を受けました。

「震災を風化させないための語り部バス」による地域交流活性化の取り組みで大賞を受賞した株式会社阿部憲子さんは、「町の中心部が8割も被災し、甚大な被害を受けた現地を訪れた旅行者に『ここは元々野原だったんですか』と聞かれるようになり『語り部バス』を始めました」と挨拶。「各国で災害が多発している今、世界中で語り部の必要性があるのではないでしょう

か」と呼びかけ、「国を超え、世代を超えて、それぞれの地域の歴史や文化を継承し、未来につなげる」とが大事な役目と考えており、交流人口の拡大や地域経済の活性化にも力を尽くしていきたい」と決意を語っています。



南三陸ホテル観洋の女将・阿部憲子さん

「持続可能なビジネス」を テーマに議論

3カ年テーマとして「持続可能な観光」アジアが世界をリードする」を掲げるアジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラムでは、「持続可能なビジネス」を2017年のテーマに設定し、4つのセッションで構成されるパネルディスカッションが実施されました。「持続可能な地域」「持続可能な地球環境への貢献」「持続可能なビジネス」「持続可能な雇用創出への貢献」という4つのテーマで内外から論客が登壇、それぞれの立場から議論を繰り広げました。



アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラムで開会の挨拶をする国連世界観光機関駐日事務所の本保芳明代表

アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム

昨年までのJAPANNIGHTに代わり、今年は参加対象別のネットワーキングを重視した交流会として「WELCOME RECEPTION JAPAN」と「WELCOME RECEPTION WORLD」が開催されました。

「ウェルカム・レセプション」 菅官房長官と石井大臣が 交流促進へ意欲

「地域が主導権を握る」重要性を強調しています。

を通じて、地場産業を発信する取り組みが内外から注目されると同時に、市外や県外から後継者を集める派生効果をもたらしていることを紹介。



「持続可能な地域」をテーマに行われたセッション

先進国の実現に向け『出来ることは全てやる』と明言。石井大臣は、「国際観光交流には、外国人目線による地域の魅力再発見といった重要な意義もある」と指摘する一方、「日本人旅行者も世界各国・地域の魅力を身近に感じられるよう、双方向交流の促進に向けてしっかりと協力する」考えを示しました。

「WELCOME RECEPTION WORLD」では、世界各国のエリア毎に分けられたテーブルで参加者らが交流を深めたほか、イリユージョンマジックショーやANAチームHNDオーケストラの演奏などのステージイベントも繰り広げられました。最後には参加者全員が登壇し、「レッツ・ビジット・ワールド!」の掛け声とともに記念撮影も行われています。



「WELCOME RECEPTION JAPAN」に参加したVIP関係者



「WELCOME RECEPTION WORLD」の参加者全員による記念撮影